第6章

# 明日を拓くしくみをつくろう

～効率的･効果的な行財政システムづくり～

**第四次行政改革大綱 R3.6**

- 第四次行政改革実施計画 R3.7
- 公共施設等総合管理計画H28.3
- 教育施設管理計画H30.8
- 長期財政計画 R3.3
- 人材育成基本方針 H28.4
- 定員適正化計画　R2.4
- 特定事業主行動計画　H28.3
- 職員コンプライアンス推進指針　H28.4
- 障がい者活躍推進計画　R2.3

〈組織目標〉

| 部局名 | 総合政策部 |
| --- | --- |

**部（局）の役割**

明日を拓くしくみをつくるために

◆ワーク･ライフ･バランスによる職場環境の実現に取り組みます。
･仕事生活との調和がとれた職場環境づくりを進めることにより、市民サービス提供事業所として職員が心身ともに健康で生き生きと働くことで、市民サービスのさらなる向上に繋げます。

〈部門方針シート〉

| 所属 | 総合政策部 | 職名 | 部長 | 氏名 | 山元　幸彦 |
|---|---|---|---|---|---|

| 番号 | 重点課題と実行方針 | |
|---|---|---|
| 1 | 課題 | ワーク･ライフ･バランスの推進 |
| | 実行方針 | 働き方改革を推進し、仕事と生活との調和のとれた職場環境づくりを進めるため、電子自治体の推進をめざしたテレワークによる在宅勤務の活用や業務の効率化、事務事業の見直しを図り、時間外勤務削減や有給休暇の取得を推進します。 |
| 2 | 課題 | 育成人事考課を活用した効率的で効果的な組織づくり |
| | 実行方針 | 効率的で効果的な組織を構築するため、育成人事考課制度の考課である業績考課と能力考課の結果に基づき、業務管理および人事管理、また職員の適正配置を行うことで、一層の市民サービスの向上が図れるよう取り組みます。 |
| 3 | 課題 | 職員の健康管理の徹底 |
| | 実行方針 | 各種健康診断の未受診者に対して、人事課から直接受診への指導を行うことにより、すべての健康診断の受診率の向上を図ります。また、ストレスチェックの実施により、メンタルヘルスの不調の防止に努めるとともに、分析結果を人事管理に活用することで、不調となった原因の改善に努めます。 |
| 4 | 課題 | 新たな滋賀県立高等専門学校の誘致への取組 |
| | 実行方針 | 滋賀県が計画している「滋賀県立高等専門学校」の甲賀･湖南圏域への誘致について、甲賀市と湖南市で構成する「甲賀･湖南広域行政協議会」や、両市の民間企業有志で発足された「草津線沿線地域に高専を誘致する会」と強力な連携の下、一丸となって甲賀･湖南圏域への誘致に向け取り組みます。 |
| | 課題 | |
| | 実行方針 | |

〈組織目標〉

| 部局名 | 総務部 |
| --- | --- |

## 部（局）の役割

明日を拓くしくみをつくるために

◆行財政改革に取り組み効率的、効果的な行財政運営の推進を図ります。
・市民サービス向上、業務の効率化・負担軽減のため、電子申請システムによる窓口業務の新たな仕組みの導入に向けて取り組みます。マイナンバーカードの普及に向けて啓発を推進します。
・第四次湖南市行政改革大綱および実施計画を実行し、新しい時代に即した行政改革の推進に努めます。
・湖南市公共施設等総合管理計画および個別施設計画に基づく各施設の適正配置と効率的・効果的な管理運営の推進に取り組みます。

◆適正な課税と早期の徴収を進めます。
・課税と収納の緊密な連携を図り計画的な滞納処分や徴収を行うことにより、滞納額を圧縮し、市税の収納率の向上と財源の確保に努めます。

〈部門方針シート〉

| 所属 | 総務部 | 職名 | 部長 | 氏名 | 西岡　嘉幸 |
|---|---|---|---|---|---|

| 番号 | 重点課題と実行方針 | |
|---|---|---|
| 1 | 課題 | 「第四次湖南市行政改革大綱」および「湖南市公共施設等総合管理計画」に基づく行財政改革の推進 |
| | 実行方針 | 第四次湖南市行政改革大綱実施計画と、湖南市公共施設等総合管理計画個別施設計画の進捗について、外部委員会に諮り評価を受け、行財政改革の推進を図ります。 |
| 2 | 課題 | 健全かつ持続可能な財政運営の推進 |
| | 実行方針 | 新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい財政運営が見込まれる中で、国・県の動向に注視しつつ、今後の財政状況の推移等を分析し、財政計画に基づき健全で持続可能な財政運営を推進します。 |
| 3 | 課題 | 税制改正への適切な対応と課税客体の的確な把握および適正な課税の推進 |
| | 実行方針 | 住民税の未申告者の削減に努めることや固定資産の現況把握、登記情報に基づく適正な評価を実施することなどにより、各税の課税客体を的確に把握し、市民サービスに必要な財源を確保します。税制改正に適切に対応し、適正な課税事務を推進します。 |
| | 課題 | |
| | 実行方針 | |
| | 課題 | |
| | 実行方針 | |

〈組織目標〉

| 部局名 | 議会事務局 |
| --- | --- |

**部（局）の役割**

明日を拓くしくみをつくるために

◆議会事務局は、議事機関であり、意思決定機関である議会が、二元代表制のもと、その役割と責務を果たし、市民に開かれた議会の実現を図ることにより、市民福祉の向上や市政の発展に寄与することができるよう、議会活動を補佐する組織です。

◆適正かつ円滑で活発な議会運営と議会改革への対応、及び市民に開かれた身近な議会の実現を担う事務局職員の更なる資質向上に取り組むとともに、事務局内の情報共有を一層図りながら、継続的な事務局機能の強化に努めます。

〈部門方針シート〉

| 所属 | 議会事務局 | 職名 | 局長 | 氏名 | 西田　章彦 |
|---|---|---|---|---|---|

| 番号 | 重点課題と実行方針 | |
|---|---|---|
| 1 | 課題 | 「開かれた議会」に向けた改革のための提案・協働 |
| | 実行方針 | ICT化への推進や議員間討議等に向けて、協議するための情報提供や提案を行います。また、議会基本条例の具現化と、検証するための提案を行います。<br>また、小・中学生に議会の仕組み等を知ってもらう取組も行っていきます。 |
| 2 | 課題 | 効率的で円滑な議会運営 |
| | 実行方針 | タブレット端末を導入したことにより、資料の格納、配布等を迅速、円滑に行えるようにルールを固めます。また、日常業務や会議運営など、課題の早期把握や的確な情報収集を行います。 |
| 3 | 課題 | 事務局員のスキルアップと人材育成 |
| | 実行方針 | 「軍師ネットワーク」などを活用するなど、法制執務、議会運営等に関するノウハウを蓄積し、組織として課題の解決への考え方などの情報を共有するとともに、コミュニケーションを図りながらOJT等も活用します。 |
| | 課題 | |
| | 実行方針 | |
| | 課題 | |
| | 実行方針 | |

〈組織目標〉

| 部局名 | 監査委員事務局 |
| --- | --- |

**部（局）の役割**

明日を拓くしくみをつくるために

◆決算審査の業務の効率化および監査業務における監査委員への支援を行い、適正に実施し完了します。
　・決算審査に係る業務の効率化を図り、定期監査、随時監査等、監査業務の監査委員への支援を行うとともに、計画的で適切な準備を行い、適正に実施し完了します。

〈部門方針シート〉

| 所属 | 監査委員事務局 | 職名 | 局長 | 氏名 | 甲斐　泰清 |
|---|---|---|---|---|---|

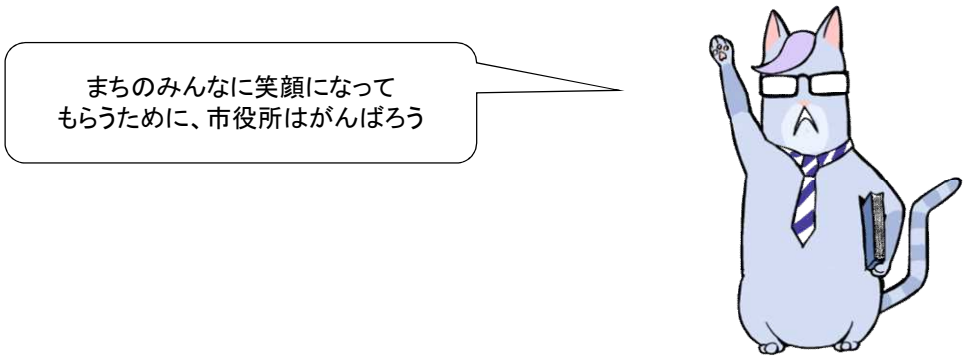
| 番号 | 重点課題と実行方針 | |
|---|---|---|
| 1 | 課題 | 決算審査意見書作成にかかる業務の効率化について |
| | 実行方針 | 決算審査終了後の決算審査意見書の作成を効率的に進めるために、意見書の入力処理や確認作業等の方法について、事務の見直せる所は見直し、業務の効率化を図ります。 |
| 2 | 課題 | 監査準備書類等の見直しについて |
| | 実行方針 | 定期監査、随時監査等をスムーズに進めるために、各課へ通知する監査準備書類等の見直しを図ります。 |
| | 課題 | |
| | 実行方針 | |
| | 課題 | |
| | 実行方針 | |
| | 課題 | |
| | 実行方針 | |

第6章

# 明日を拓くしくみをつくろう

～効率的・効果的な行財政システムづくり～

## 1. 効率的な行財政運営の推進




| 目標指標名 | 基準値（令和元年度） | 目標値（令和７年度） |
|---|---|---|
| 行政改革大綱実施計画の進捗割合 | 96% | 100% |
| 経常収支比率 | 89.3% | 90.7% |

| 令和３年度 | 令和４年度 | |
|---|---|---|
| 実績値 | ９月末現在実績 | 年度末実績 |
| 81.0% | | |
| 82.6% | | |

関連計画：湖南市行政改革大綱、湖南市公共施設等総合管理計画、湖南市長期財政計画、
湖南市人材育成基本方針、職員研修計画、湖南市定員適正化計画、湖南市特定事業主行動計画、
湖南市職員コンプライアンス推進指針、湖南市障がい者活躍推進計画

部(局)名　総務部･総合政策部

## 施策1

# 行政改革の推進

●社会情勢や多様な行政需要に応じた柔軟な組織体制の構築
●テレワーク環境の推進
●統合型マネジメントシステムによる事務事業の改善
●自治体クラウドの推進
●公共施設の最適化

## 現　状

社会情勢の変化に柔軟に対応できる組織体制のもと、自治体クラウドのシステム共同化による割り勘効果やアウトソーシングによる業務の効率化を図り、最小の経費で最大の効果を発揮するための行政改革を推進しています。

## 課　題

多様な行政需要の変化や働き方改革等の社会情勢により、事務事業の見直しや業務の効率化はもとより、近年の感染症流行によるリスクに対し業務を継続できる環境の整備が必要です。

〈施策進捗管理シート〉

| 担当課・施策内容 | 現状・課題 | 実施事業 | 成果 | 達成度 | 今後の方向性 |
|---|---|---|---|---|---|
| 【人事課】<br>社会情勢や多様な行政需要に応じた柔軟な組織体制の構築 | 専門職員の採用や人事異動において調書やヒアリングなどによる調査を実施し、組織機構の検討を実施しています。また、課内の職員配置や年度途中の部内異動等については所属長権限において対応しています。 | ・定員管理計画や職員採用計画に基づく職員採用<br>・ヒアリングなどの調査による組織改編、人事異動 | | | |
| 【人事課】<br>テレワーク環境の推進 | テレワーク環境を令和2年度に整備しました。今後は効果的な運用方法や在宅勤務を取得できる職場環境づくりが必要です。 | ・在宅勤務制度の運用 | | | |
| 【行財政改革推進課】<br>統合型マネジメントシステムによる事務事業の改善 | 主要事業の進捗管理を四半期ごとに実施し、進捗を評価することにより、業務の質の向上、コストに対して職員が意識を持つ必要があります。 | ・主要事業進捗管理シートを作成し、四半期ごとに確認し、行政改革推進本部会議で検討 | | | |
| 【行財政改革推進課】<br>自治体クラウドの推進 | 業務の効率化および経費の削減に努めるためクラウド化を進める必要があります。 | 行政情報システムにおいてクラウド化が可能なシステムについて共同利用の検討 | | | |

（達成度） A：計画どおり達成　B：計画を80%達成　C：計画を50%以上達成　D：計画の達成が50%未満

〈施策進捗管理シート〉

| 担当課・施策内容 | 現状・課題 | 実施事業 | 成果 | 達成度 | 今後の方向性 |
|---|---|---|---|---|---|
| 【行財政改革推進課】<br>公共施設の最適化 | 市内の公共施設は建設後30年を経過するものが5割以上を占め、施設の老朽化が進んでいます。公共施設等総合管理計画の目標の実現に向けた取組みが必要です。 | ・湖南市共施設等総合管理計画個別施設計画に基づく統廃合及び譲渡等の実施の進捗管理 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

（達成度） A：計画どおり達成　B：計画を80％達成　C：計画を50％以上達成　D：計画の達成が50％未満

部(局)名　総合政策部

## 施策2

### 地方分権化に対応した人材の育成

●研修制度の充実による業務能力の向上

●育成人事考課制度による人材育成の向上

### 現　状

地方分権による権限や財源の移譲に伴い、専門的な知識を習得し行政サービスを行っています。また、各地域まちづくり協議会には、地域担当職員が配置されており、市民協働による地方創生が進められています。

### 課　題

質の高い行政サービスを提供するためにはEBPM*に基づく課題の発見、政策立案の手法等職員の意識と能力の向上が必要です。また、若い職員が地域に飛び出し、地域と協働できる実践の場を提供することが必要です。

〈施策進捗管理シート〉

| 担当課・施策内容 | 現状・課題 | 実施事業 | 成果 | 達成度 | 今後の方向性 |
|---|---|---|---|---|---|
| 【人事課】<br>研修制度の充実による業務能力の向上 | 人材育成基本方針にもとづき、毎年、職員研修計画を定めて年間研修プログラムを推進しています。<br>コロナ禍でのニーズに合った研修プログラムや研修への参加機会の確保が課題となっているので、研修に関する情報提供を積極的に行い、研修機会の確保を図っていきます。 | ・職員研修計画に基づく研修の実施<br>・職場外研修の情報提供<br>・職場研修の推進<br>・自己啓発へのサポート<br>・コロナ禍における有効な研修の実施 | | | |
| 【人事課】<br>育成人事考課制度による人材育成の向上 | 育成人事考課制度は平成26年度から本格運用し、平成31年度に見直しを行ったところでありますが、人材育成のための仕組みとして、引き続き見直しを行っていきます。 | ・育成人事考課制度による人材育成 | | | |
| | | | | | |

（達成度） A：計画どおり達成　B：計画を80％達成　C：計画を50％以上達成　D：計画の達成が50％未満

部(局)名　総務部

## 施策3

# 財政の健全化

●経常的経費の抑制や投資的事業の年度間調整等による財務改善の推進
●未収債権への取組や新たな財源の確保
●財政健全化判断比率や財務書類の公開による透明性の高い財政運営の推進

## 現　状

人口減少社会を迎え生産年齢人口の減少等により、歳入の根幹である市税収入の増収は見込めません。そのため、経費の削減や国県補助金等の財源確保に努めることにより財政の健全化を進めています。

## 課　題

限られた資源で持続可能な行政サービスを行うためには、安定的な財政基盤の構築と透明性の高い財政運営が必要です。

〈施策進捗管理シート〉

| 担当課・施策内容 | 現状・課題 | 実施事業 | 成果 | 達成度 | 今後の方向性 |
|---|---|---|---|---|---|
| 【財政課】<br>経常的経費の抑制や投資的事業の年度間調整等による財務改善の推進 | 限られた財源のもとに持続可能なまちまちづくりを進めていくためには、事務事業の見直し等により経常的経費の抑制に取り組むとともに、投資的事業調査を通して事業費の平準化を図り、安定的な財政運営に取り組む必要があります。 | ・事務事業見直しの推進<br>・投資的事業調査の実施 | | | |
| 【財政課】<br>未収債権への取組や新たな財源の確保 | 人口減少や生産年齢人口の減少等による歳入減に対応し、持続可能な行財政運営を図るために、新たな財源の確保に向けた検討を進める必要があります。 | ・新型コロナウイルス感染症の拡大により経済・雇用が不安定ですが、今後の環境変化を見据え情報収集、手法を検討、他課と連携して財源確保に努めます。 | | | |
| 【行財政改革推進課】<br>未収債権への取組や新たな財源の確保 | | | | | |
| 【収納課】<br>未収債権への取組や新たな財源の確保 | 税金および各種料金の徴収状況の把握が必要です。 | ・目標達成に向けた適正な債権管理のため、未収金対策会議による各担当への指導と情報の共有 | | | |

（達成度） A：計画どおり達成　B：計画を80％達成　C：計画を50％以上達成　D：計画の達成が50％未満

〈施策進捗管理シート〉

| 担当課・施策内容 | 現状・課題 | 実施事業 | 成果 | 達成度 | 今後の方向性 |
|---|---|---|---|---|---|
| 【財政課】<br>財政健全化判断比率や財務書類の公開による透明性の高い財政運営の推進 | 本市の財政状況について、広報誌やHP等を通して市民や議会等に公表し、より透明性の高い行財政運営に努めています。 | ・財政状況の公表<br>・財務書類の公表 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

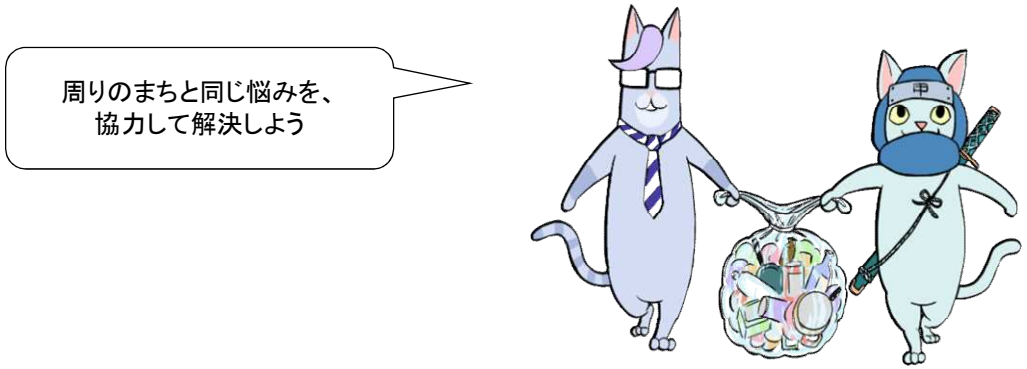
（達成度） A：計画どおり達成　B：計画を80％達成　C：計画を50％以上達成　D：計画の達成が50％未満

第6章

# みんなで共に進めるしくみをつくろう

～人権尊重と自立･自助、共助のまちづくり～

## 2. 広域連携の推進




| 目標指標名 | 基準値（令和元年度） | 目標値（令和７年度） |
|---|---|---|
| 行政情報システム共同利用実施割合 | 73% | 91% |

| 令和３年度 | 令和４年度 | |
|---|---|---|
| 実績値 | ９月末現在実績 | 年度末実績 |
| 73% | | |

関連計画：湖南市都市計画マスタープラン、湖南市立地適正化計画

部(局)名 総合政策部･総務部･健康福祉部･都市建設部･環境経済部

## 施策1

# 近隣市町との連携の推進

●甲賀広域行政組合、公立甲賀病院の効率的な経営の推進
●JR草津線複線化、広域道路整備、河川改修等の共通の行政課題に対する連携の推進
●自治体クラウドによる連携の推進
●新たな行政課題に対する広域自治の検討

### 現　状

湖南･甲賀の2市により広域行政組合や病院事業を効率的に運営しています。また、栗東･野洲･竜王･甲賀等の近隣･関係市町と共通する課題ごとに協議会を設置し、事業の共同実施や国･県等への要望活動を行っています。

### 課　題

近隣市町の共通課題を効率的に継続して取り組むとともに、社会情勢の変化による新たな行政課題に対して適切な枠組を設計し、地方創生に求められる地域間連携が必要です。

〈施策進捗管理シート〉

| 担当課・施策内容 | 現状・課題 | 実施事業 | 成果 | 達成度 | 今後の方向性 |
|---|---|---|---|---|---|
| 【環境政策課】<br>甲賀広域行政組合の効率的な経営の推進 | 近隣市町の共通課題を効率的に継続して取り組む必要があります。 | ・効率的な経営の推進 | | | |
| 【地域医療推進課】<br>公立甲賀病院の効率的な経営の推進 | | | | | |
| 【地域創生推進課】<br>JR草津線複線化、広域道路整備、河川改修等の共通の行政課題に対する連携の推進 | 3つの広域行政協議会（栗東市、野洲市・竜王町、甲賀市）を活用し、隣接自治体との共通課題に対し調査研究を行っています。 | ・広域行政協議会における広域道路等の国県への要望活動 | | | |
| 【土木建設課】<br>（再掲）JR草津線複線化、広域道路整備、河川改修等の共通の行政課題に対する連携の推進 | 共通の課題を持つ関係市町と連携し、国土強靭化対策に取り組んでいます。 | ・関係団体を通じた高規格道路の整備や一級河川の改修にかかる国県への要望活動 | | | |

（達成度） A：計画どおり達成　B：計画を80％達成　C：計画を50％以上達成　D：計画の達成が50％未満

〈施策進捗管理シート〉

| 担当課・施策内容 | 現状・課題 | 実施事業 | 成果 | 達成度 | 今後の方向性 |
|---|---|---|---|---|---|
| 【都市政策課】<br>（再掲）JR草津線複線化、広域道路整備、河川改修等の共通の行政課題に対する連携の推進 | 県・沿線市町と同盟会を結成し、鉄道事業者に要望活動を実施します。 | ・滋賀県草津線複線化促進期成同盟会での要望活動 | | | |
| 【行財政改革推進課】<br>自治体クラウドによる連携の推進 | 基幹システムを含め、70%のシステムが自治体クラウドにより共同利用を行っています。更にクラウド化の推進が必要です。 | 電子決裁・文書管理システムの共同調達の実施 | | | |
| 【地域創生推進課】<br>新たな行政課題に対する広域自治の検討 | 3つの広域行政協議会（栗東市、野洲市・竜王町、甲賀市）を活用し、新たな行政課題や発展的な共通課題に対し積極的な意見交換や取組が必要です。 | ・広域行政協議会における国県への要望活動、市町間の意見交換、取組の実施 | | | |
| | | | | | |

（達成度） A：計画どおり達成　B：計画を80%達成　C：計画を50%以上達成　D：計画の達成が50%未満